波形ファイル（CSB,BMP）の保存方法　　～GDS1102A、GDS 1022～

1）SDカードを取り出し、パソコンにつないで、中のファイルをすべて削除する。

2）測定したい抵抗に合わせてオシロの”Run/Stop”ボタンを押すことで波形を止める。

3）波形データ(CSV)の保存

(1) オシロの”SAVE/RECALL”ボタンを2回押し、”Save”メニューを表示する。

(2) “波形を保存する”を押す。

(3) “保存実行”を押す。DS0000.bmpが保存される。2回目以降はDS 0001bmpとなり、数字が1つずつ大きくなっていく。

4）波形の数値データ(CSV)の保存

(1) オシロの”SAVE/RECALL”ボタンを2回押し、”Save”メニューを表示する。

(2) “画面を保存する”を押す。

(3) “保存実行”を押す。DS0000.csvが保存される。2回目以降はDS 0001csvとなり、数字が1つずつ大きくなっていく。

5) Cursorボタンを押し、手動で雑音振幅を測定する。（Cursorの操作法についてはここでは省略する）

6）オシロの”Run/Stop”ボタンを押すと波形が動き始める。この抵抗でまだ雑音波形を測定する場合は、適当なところで” Run/Stop”ボタンを押すことで波形を止める。1つの抵抗について3回波形測定を繰り返す。終わったらSDカードをオシロから抜き、パソコンにつないでbmpとcsvファイルが3つずつ増えていることを確かめる。抵抗値を含むファイル名に変更しておくと良い。

7) SDカードをオシロに戻し、抵抗を切り替えて2）から6）を繰り返す。

※GDS1102A、GDS 1022のCSVファイルはオシロ縦軸データがポイントで表示されています。2乗平均電圧を求めるために時間と電圧のデータにするにはマイドキュメント上の「GDS1XXX-CSV元」をコピーして使ってください。使い方はファイル内のワークシートに記述されています。